

Q

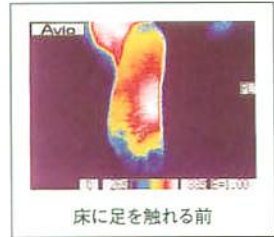
コルクの床に触れると暖かく感じるのはなぜですか？

A

夏涼しく、冬暖かいのはこの断熱性を自然に備えているからです。コルクには無数の気泡があり熱を伝えにくい性質があります。

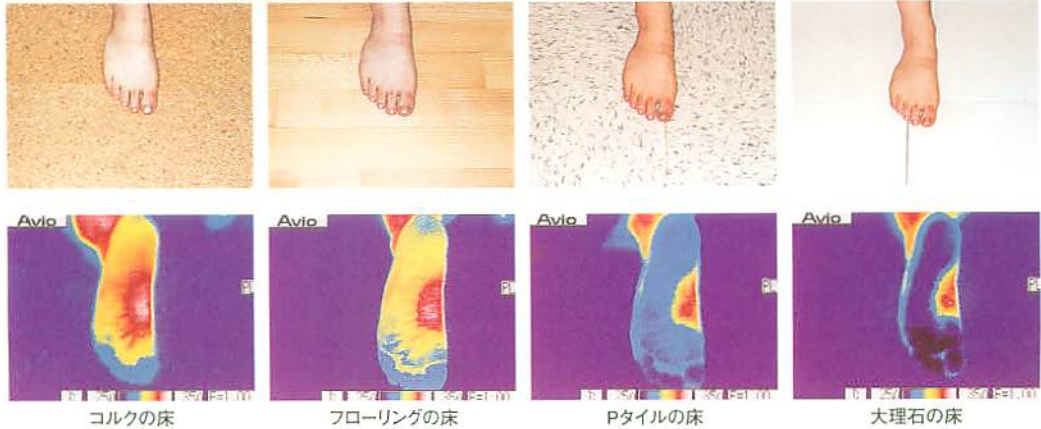
サーマルカメラが実証するコルクのもつ暖かさ

下の写真は温度の分布を写し撮る「サーマルカメラ」によるものです。赤色が温度が高く、逆に青色は温度の低い場所です。床に脚を触れる前の状態に対して、一分後どの位足裏の温度が下がったのを見たとれますが、ご覧の通り、コルクの床はほとんど触れる前と変わっていないのに対して、塩化ビニールの床や大理石の床が一瞬にして体温を奪うのがわかります。わりと見た目が暖かさそうなフローリングの床でもコルクには及びません。これはコルクが微細な空気層を持っているため、断熱材と同じ役割を果たすからです。もちろん熱を伝えにくいと言うことは、逆に暑いときも涼しいということになります。



床に足を触れる前

■他素材との暖かさの比較(当社調べ)



■熱伝導率試験および他素材との比較

■試験方法

熱伝導率測定装置を用いてJIS A 1412-1994「熱絶縁材の熱抵抗および熱伝導率の測定法」における、天板熱流計一枚方式により測定しました。

他の床に比べコルクフロアの熱伝導率が低いことがわかります。

■試験結果(林業総合試験場)

床材の種類	平均熱伝導率	
	kcal/mh ^{°c}	W/mk
コルクマスター	0.0785	0.0912
コルクバケット	0.0585	0.0679
コルクスタイル	0.0971	0.1129
コルクオーフロア	0.1040	0.1209
ウッドオーフロア	0.1329	0.1549

■他素材との熱伝導率の比較 (kcal/mh^{°c})



※試験は単体による試験です。通常3mmのコルクシートを下地材として使用しますので、断熱性はさらに向上します。